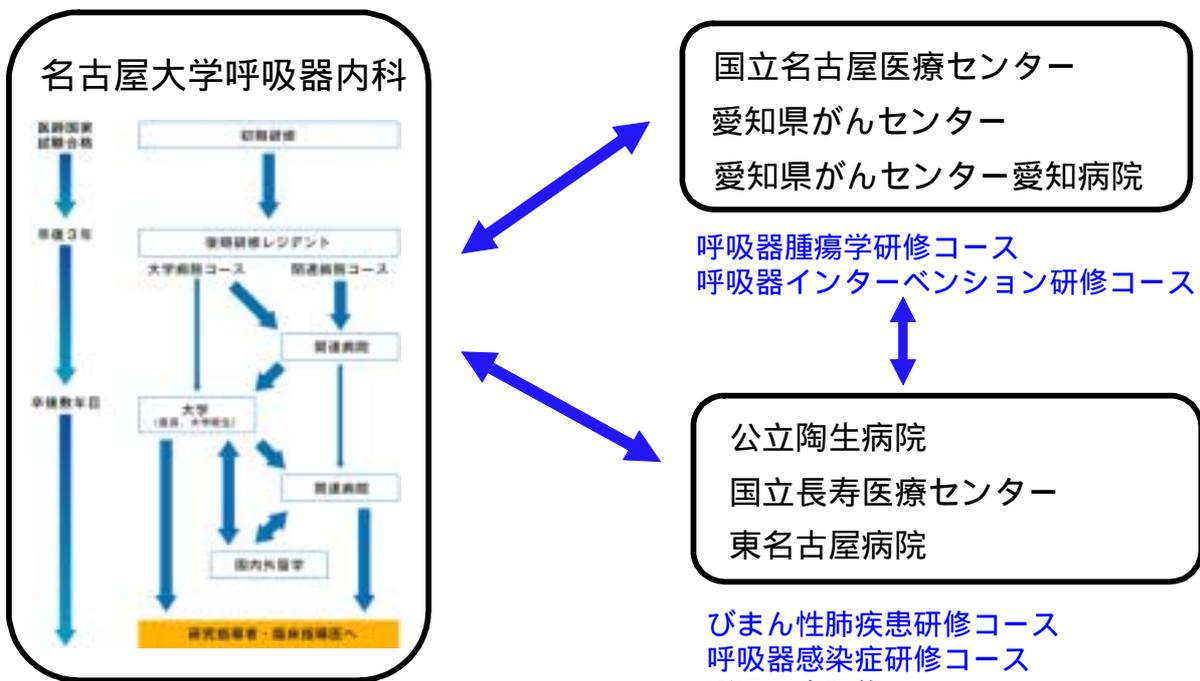


コースの概要

(1) コースの全体像

呼吸器内科臨床における幅広い知識と技術を持ち、かつ臨床呼吸器学のさらなる発展のために先端的な臨床研究を主導できる高度医療人としての呼吸器内科専門医を育成することを目的としたコースである。当科とその関連病院間で幅広く人材の交流を行い、合同の研究会あるいは若手医師を中心とする講習会を通して偏りのない標準的な臨床能力を養い、さらに個人の得意分野、研究分野を発展させることができるネットワークを構築している。このシステムを通して呼吸器専門医のみでなく、アレルギー専門医、呼吸器内視鏡専門医、臨床腫瘍専門医などの資格も得ることができる。また春、秋の2回、関連病院の呼吸器専門医がチューター役となって当地方の呼吸器専門医を目指す若手医師（後期臨床研修医を含む）を対象に呼吸器疾患の複数領域について教育セミナーを1泊2日で行っている。これらを通してより普遍的な実力をつける研修を目指している。

呼吸器内科 専門医養成相互ネットワーク連携システム



(2) コースの概要

コース名：呼吸器内科専門医コース							
大学病院・ 医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者 数	目的	養成(受 入)人数	期間	

名古屋大学 病院	呼吸器内科	呼吸器内科 学	8人	臨床研究、臨床治験 基礎研究	10人	2-4年
愛知県がん センター	呼吸器内科	呼吸器腫瘍 学	3人	抗癌化学療法研修 放射線治療学研修	2人	3-4年
公立陶生病 院	呼吸器内科	びまん性肺 疾患	5人	臨床研究、臨床治験	3人	2-4年
国立長寿医 療センター	呼吸器内科	老年呼吸器 病学	4人	閉塞性肺疾患研修	2人	2-4年
名古屋第一 赤十字病院	呼吸器内科	呼吸器腫瘍 学	3人	臨床腫瘍学研修	3人	2-4年
名古屋第二 赤十字病院	呼吸器内科	アレルギー 学	3人	呼吸器アレルギー 学研修	3人	2-4年
名古屋医療 センター	呼吸器内科	呼吸器腫瘍 学	3人	呼吸器内視鏡、呼吸 器インターベンシ ョン研修	3人	2-4年
東名古屋病 院	呼吸器内科	呼吸器感染 症	4人	呼吸器感染症学研 修	3人	2-4年
名古屋掖済 会病院	呼吸器内科	呼吸不全	4人	呼吸器救急研修	3人	2-4年
小牧市民病 院	呼吸器内科	閉塞性肺疾 患	3人	呼吸器リハビリテ ーション研修	3人	2-4年
				受入人数	30人	

サブスペシャリティークースとして、アレルギー専門医コース、呼吸器内視鏡専門医コース、感染症専門医コースがあり、呼吸器学会専門医取得後に名古屋大学病院および関連病院での研修を受ける事ができる。

(3) コースの実績

名古屋大学病院呼吸器内科およびその関連病院における相互ネットワーク連携システムの一環としての呼吸器内科専門医コースがあり、これにより毎年日本呼吸器学会の専門医試験では8-10名の合格者を輩出している。

(4) コースの指導状況

名古屋大学呼吸器内科では3名の呼吸器内科指導医および5名の呼吸器内科専門医による、臨床呼吸器病学、呼吸器免疫学、呼吸器遺伝生物学、呼吸器生理学、呼吸器病理学の指導を受けて臨床研究、基礎研究、疫学研究を行う。関連病院では、救急医療研修、呼吸不全管理研修、臨床腫瘍学研修を行われている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本呼吸器学会
資格名	呼吸器学会専門医
資格要件	認定内科医を取得した後、日本呼吸器学会歴3年以上かつ学会認定施設で臨床研修3年以上、非喫煙者、認定試験の合格
学会の連携等の概要 名古屋大学呼吸器内科教室および多くの関連施設は呼吸器学会認定施設でありそれぞれ学会指定の指導医が呼吸器学会所定の研修カリキュラムに従って研修を行っている。	

学会等名	日本アレルギー学会
資格名	アレルギー学会専門医
資格要件	認定内科医取得。学会歴5年以上かつ学会認定施設で通算6年以上の研修歴、認定試験の合格
学会の連携等の概要 名古屋大学呼吸器内科教室および多くの関連施設はアレルギー学会認定施設でありそれぞれ学会指定の指導医、専門医が学会所定の研修カリキュラムに従って研修を行っている。	

学会等名	日本呼吸器内視鏡学会
資格名	気管支鏡専門医
資格要件	日本呼吸器内視鏡学会歴5年以上かつ学会認定施設で所定のカリキュラムを終えていること
学会の連携等の概要 名古屋大学呼吸器内科教室および多くの関連施設は呼吸器内視鏡学会認定施設でありそれぞれ学会指定の指導医が呼吸器学会所定の研修カリキュラムに従って研修を行っている。	